

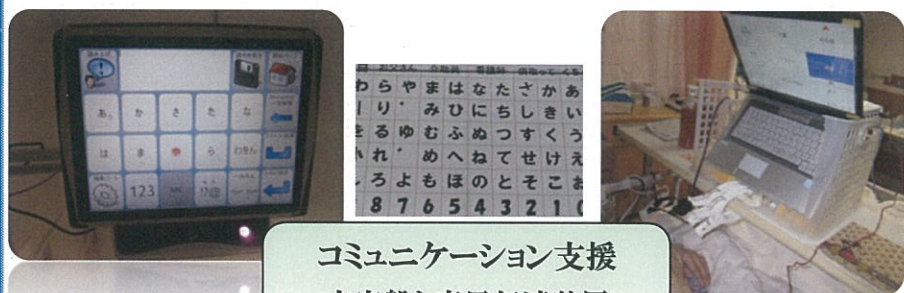
神経・筋難病病棟の紹介

神経・筋難病病棟は、筋萎縮性側索硬化症(ALS)・パーキンソン病・脊髄小脳変性症などの難病の方の入院病棟です。難病と闘いながら、残された機能を最大限に活かして、患者さんのその人らしさを尊重し、生きがいを支えられるよう、患者さんに寄り添ったあたたかい看護の提供に努めています。

『文字盤』や『伝の心』を利用したコミュニケーション支援や、人工呼吸器を装着している患者さんでも、「花が見に行きたい」「海が見に行きたい」「家に帰ってみたい」という要望に添って、安全に配慮しながら、入院生活のQOLを高めるための支援をしています。医師・看護師・療養介助員・理学療法士・作業療法士・地域医療連携室と多職種で連携し、患者さんの希望の実現に向けチームで協働し活動しています。



自宅や思い出の地への外出



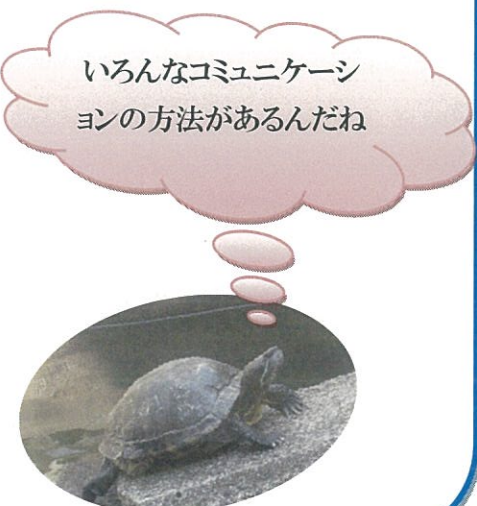
コミュニケーション支援
文字盤と意思伝達装置



文字盤は、根気強くひと言ひと言を読み取っていくことが大切です。



季節の行事



3病棟 病棟療育通信 「笑顔」 ～夏号～

3病棟では、7月の面会日に「お楽しみ会」を開催しました。

入院患者47名中、人工呼吸器使用中の患者さんを含め40名が病棟デイルームに集合し、皆で歌を歌ったり、短冊に願い事をかいたり、風船送り競争やゲームありと、みなさん楽しいひとときを過ごしました。風船送りでは、家族の方も参加していただき、熱戦が繰り広げられ、患者・家族・職員が一丸となって楽しい夏祭りとなりました。

おりひめチーム 対 ひこぼしチーム

風船送り競争！

職員の出し物

郷ひろみの『99は終わらない』イエーイ

短冊に願い事
を書いたよ♪

病棟療育の時間に、患者さん達
の手を「にぎにぎ」して作った
『ひまわり』の花びらです。

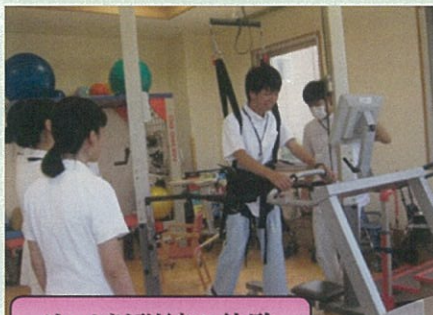
～看護セミナー開催しました～

当院では、看護学生を対象に看護セミナーを行っています。リハビリ病棟での看護体験や、精神科病棟での作業療法の見学やコミュニケーション技術についてなどの体験をしていただきました。リハビリ病棟でのティルトテーブルでの起き上がり練習体験では、「起き上がりとは臥位になる体験は怖かった」と、また精神科病棟での作業療法体験では「精神科に興味を持って参加したが、患者の障害の部分だけでなく健康な部分を感じることが出来た」と感想をもらいました。

臨床研究部長の講義



リハビリ訓練の体験



精神科病棟での集団作業療法体験



看護セミナーでは看護部だけでなく、医師・リハビリ・保育士等、他職種の協力を得ながら、さまざまな看護体験ができるように計画しています。

嚥下食(ソフト食)の試食



～しゃんしゃん祭りに参加しました～



今年も、しゃんしゃん祭りに参加し、総勢 50 名の踊り子たちが夏の鳥取市内を練り歩きました。はじめて踊る人・毎年参加の人等、社会人 1 年目からベテランまで、職種を超えて和気あいあいと一致団結し、ここでもチームの力を発揮していました。今年もしゃんしゃん祭りは『一斉傘踊りギネスに挑戦！』のイベントもあり、当院からも 45 名がエントリーしました。これまでのギネス記録はルーマニアの 1461 名だったのですが、1688 名と大きく上回り、『最大のアンブレラダンス』に認定。見事ギネス世界一に貢献しました。

当日は、応援に来た職員はもとより、当院を退院された患者さんやご家族からの声援があちこちで聞かれ、日頃の練習の成果を披露することができました。



しゃんしゃん祭り

参加したかったな～

みんな

かわいいな～♡

地域医療連携室はパンフレットを配布し、病院のPRをしました。

♪～♪～♪ カメラ目線でピース！ 笑顔が勢ぞろい ♪～♪

～亀池の様子～

暑い夏も終わり、いたる所で虫の声が聞かれるようになりました。亀たちは、春からずっとあちこちで穴を掘ってたまごを産んでいる姿を見せていました。しかし、いつまでも子亀の姿がなく、このまま秋を迎えるのかと思っていた矢先、小さな命が亀池に訪れました。今年は 10 匹以上が巣立っていきました。

【前号の答え】

亀の数は 18 匹です。

10 円玉



お知らせ

① 病院フェスタ開催

平成 26 年 11 月 5 日(水)

10:30～15:00

作品展示 ミニ水族館
オカリナ演奏 ゲーム等

② 次号亀池通信

12 月発行予定